

アジア・ゲートウェイ戦略会議

2006年11月21日

一橋大学大学院国際企業戦略研究科
石倉洋子

アジア・ゲートウェイ戦略会議

- I. 一橋大学大学院国際企業戦略科の取り組み
- II. イノベーション、国際競争における日本の制度改革

一橋大学大学院国際企業戦略研究科概要

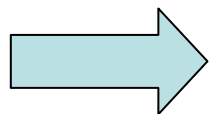
- 所在地: 〒101-8439 千代田区一橋2-1-2

学術総合センター内

- 国立大学(当時)初の専門大学院(後に専門職大学院)として2000年より授業開始
- 研究科ホームページ: <http://www.ics.hit-u.ac.jp/jp/>
- 特色 「橋を架ける」というコンセプト
 - ・国際経営戦略、(金融戦略・経営財務、経営法務)という3コース
 - ・グローバル社会に貢献できるスペシャリストを育成する実践的専門教育
 - ・英語でMBAプログラムを実施(国際経営戦略コース)
 - ・当初から、世界を対象にして、10月新学期、すべて英語
 - ・民間企業からの講師の派遣、寄附講座の設置など、産学交流での教育
 - ・アジアの中心に多数の留学生を受け入れ(MBAコースの半数は留学生)
 - ・徹底した少人数制で細かい指導
 - ・毎年各種の実験と試行錯誤

1. オープン化の視点から見た一橋の取り組み 原体験からの教訓 - 予想と実際は大違い

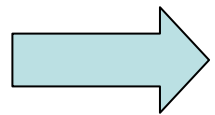
- 世界ルールに合わせたオープン化
 - ・海外に対して、開かれた大学院
 - ・内なるオープン化 日本人への刺激(たくましさ、要求度、主張など)
- 英語のメリット 計り知れない
- 多様性が息づくクラス
- 日本・自分達の相対的な強み、ユニークさの発見



「世界に開かれるとは」
「世界レベルの競争と協働とは」
という実感

課題

- 社会システムの改革に必要なレベルにするには、ある程度の規模が必要
- ICTの力を活用
- 若い人にもっと多くの実体験を



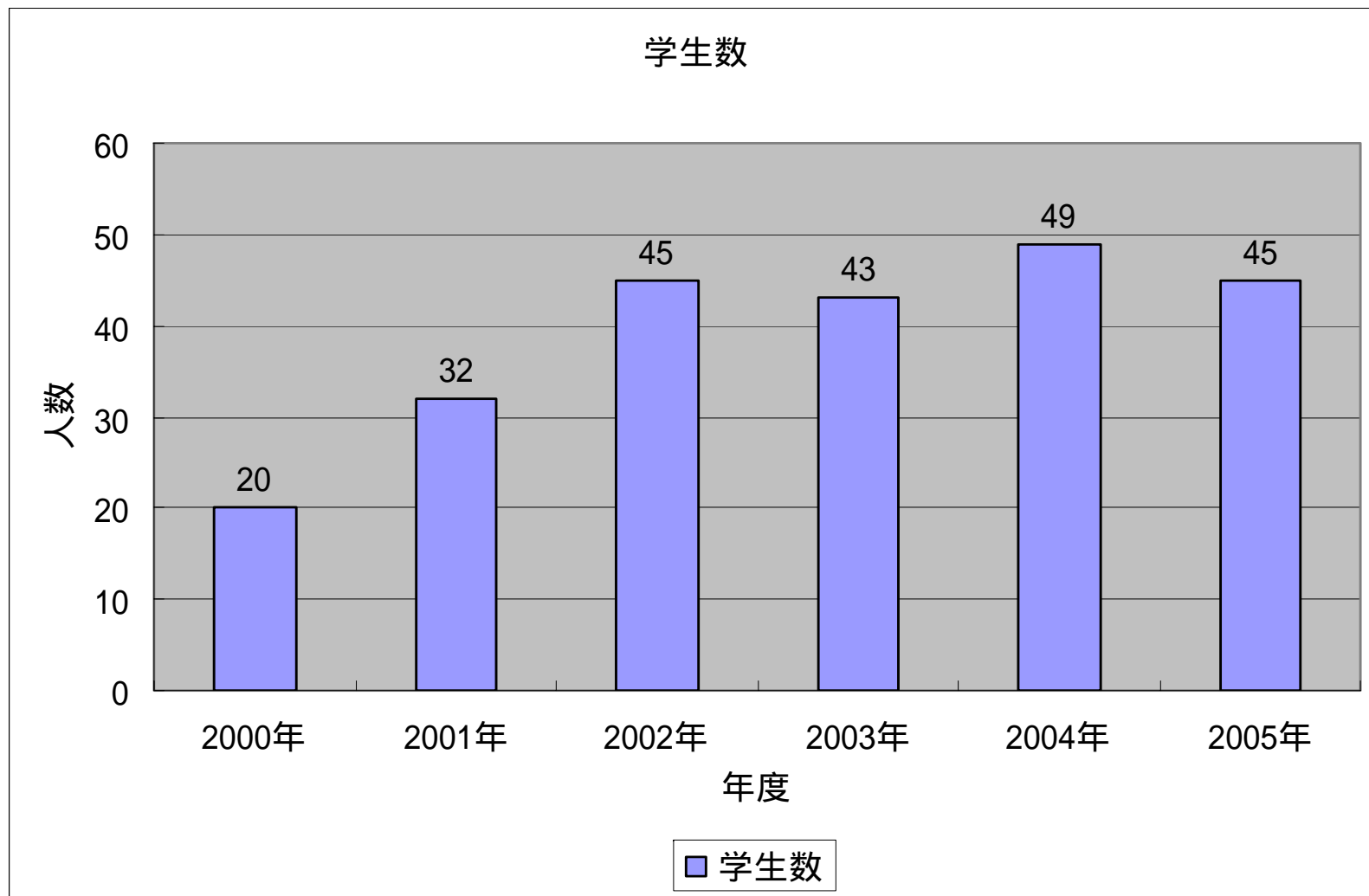
大きな動きにするには、大学・研究所の30%を外国人、英語など思い切った改革を

II. イノベーション、国際競争時代における日本の制度改革

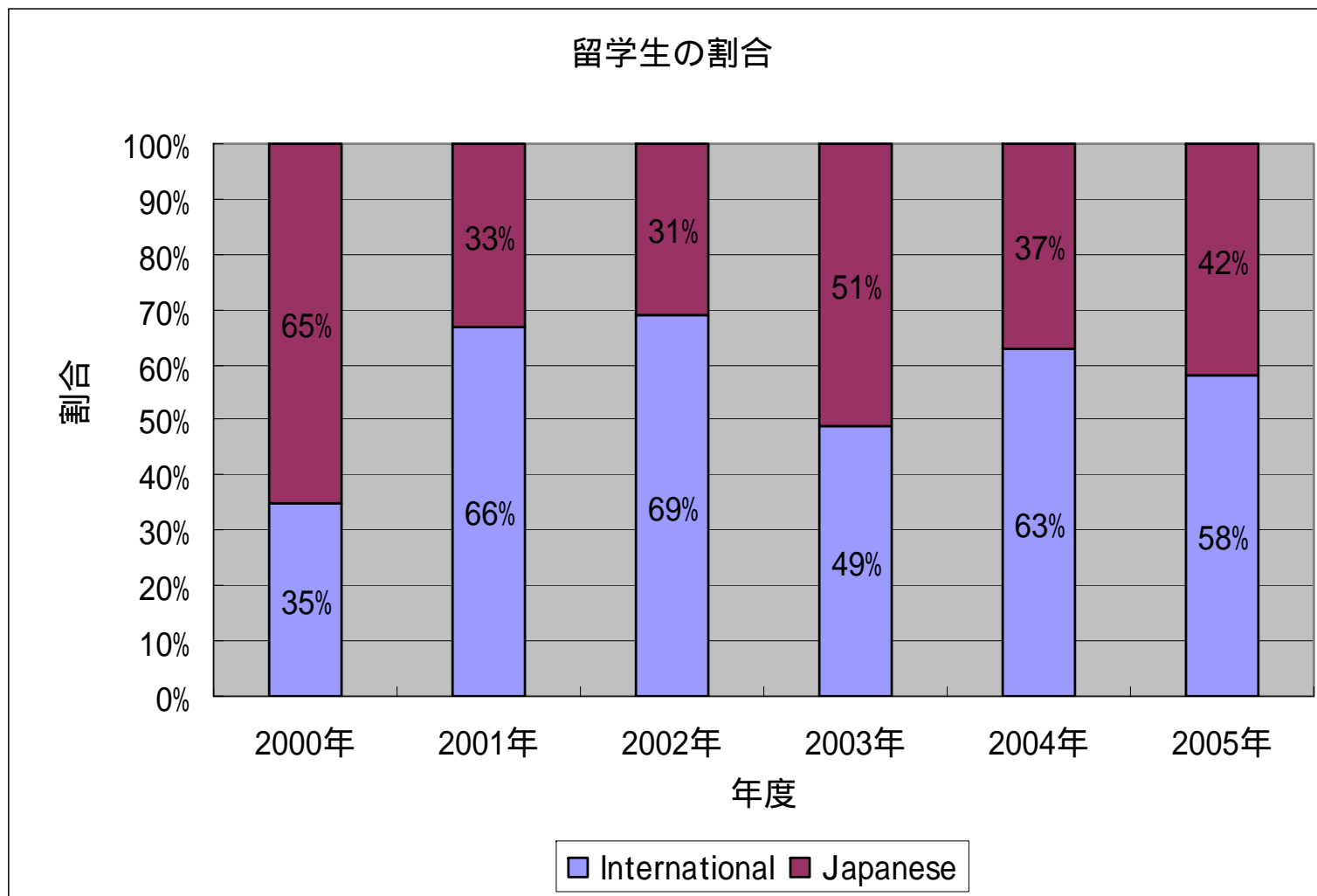
- 競争力の源泉はイノベーション(新市場、サービス、製品、ビジネス)
- 継続するためには社会システム全体の改革が必要
 - ・科学技術の知識、人材・資金・情報のネットワーク、良いものを認める市場、失敗・チャレンジを評価する社会など
- 日本では中途半端な取組が多い
 - ・必要なのは
 - ・生活者視点の横断的・抜本的な改革
 - ・実際の事例からの教訓
 - 特に失敗例の分析と対策

《参考資料》

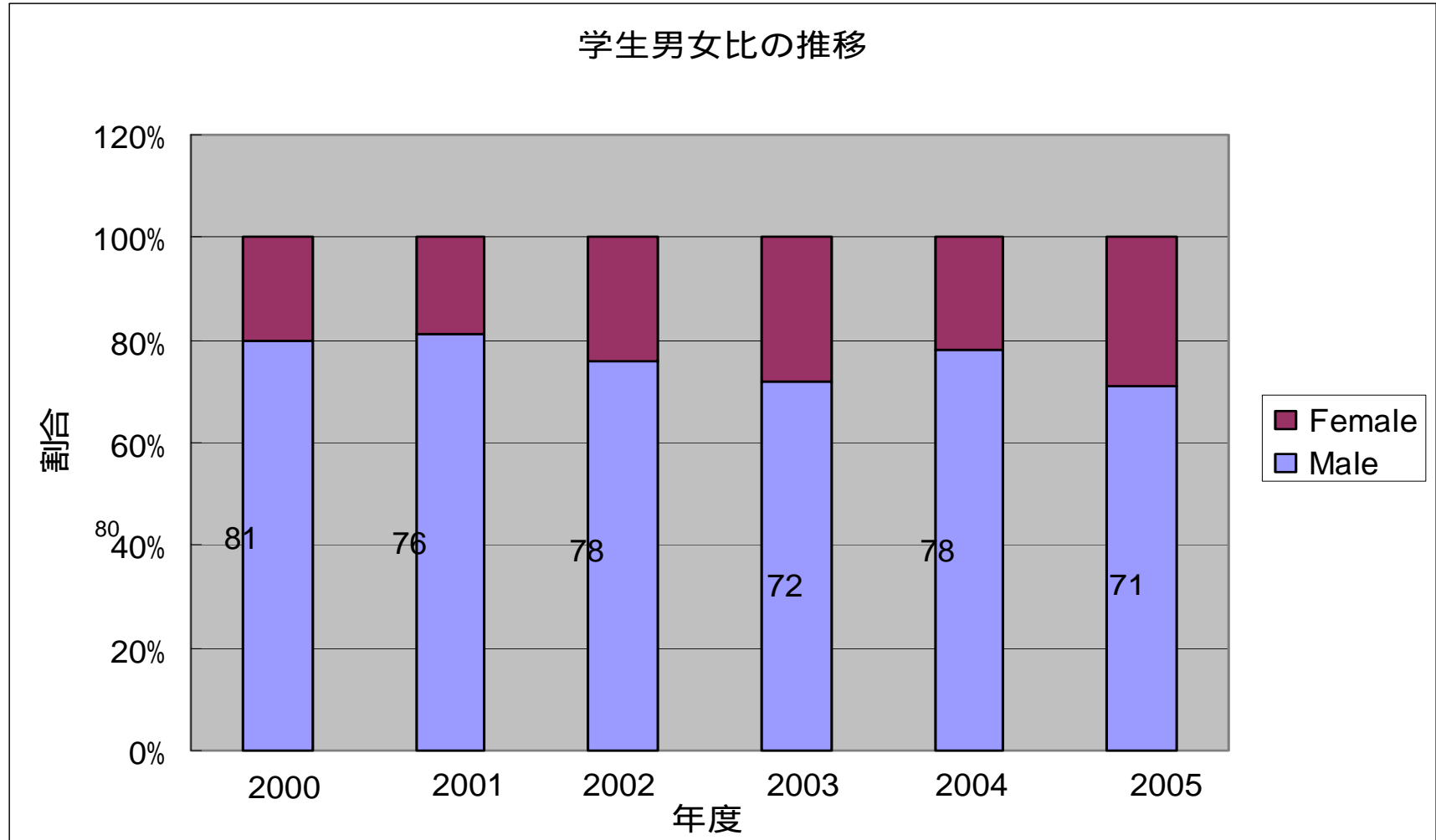
学生数の推移



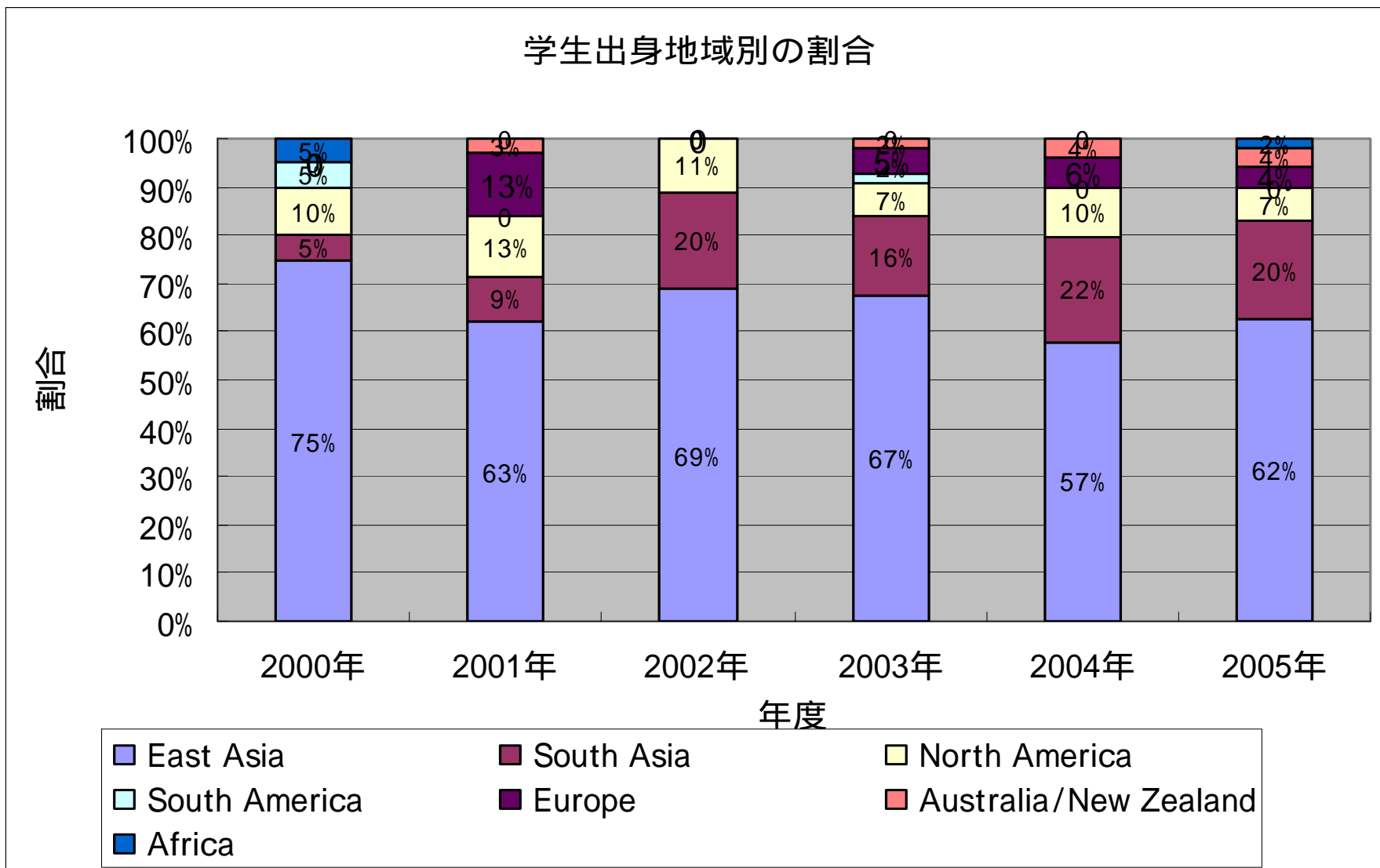
留学生の割合



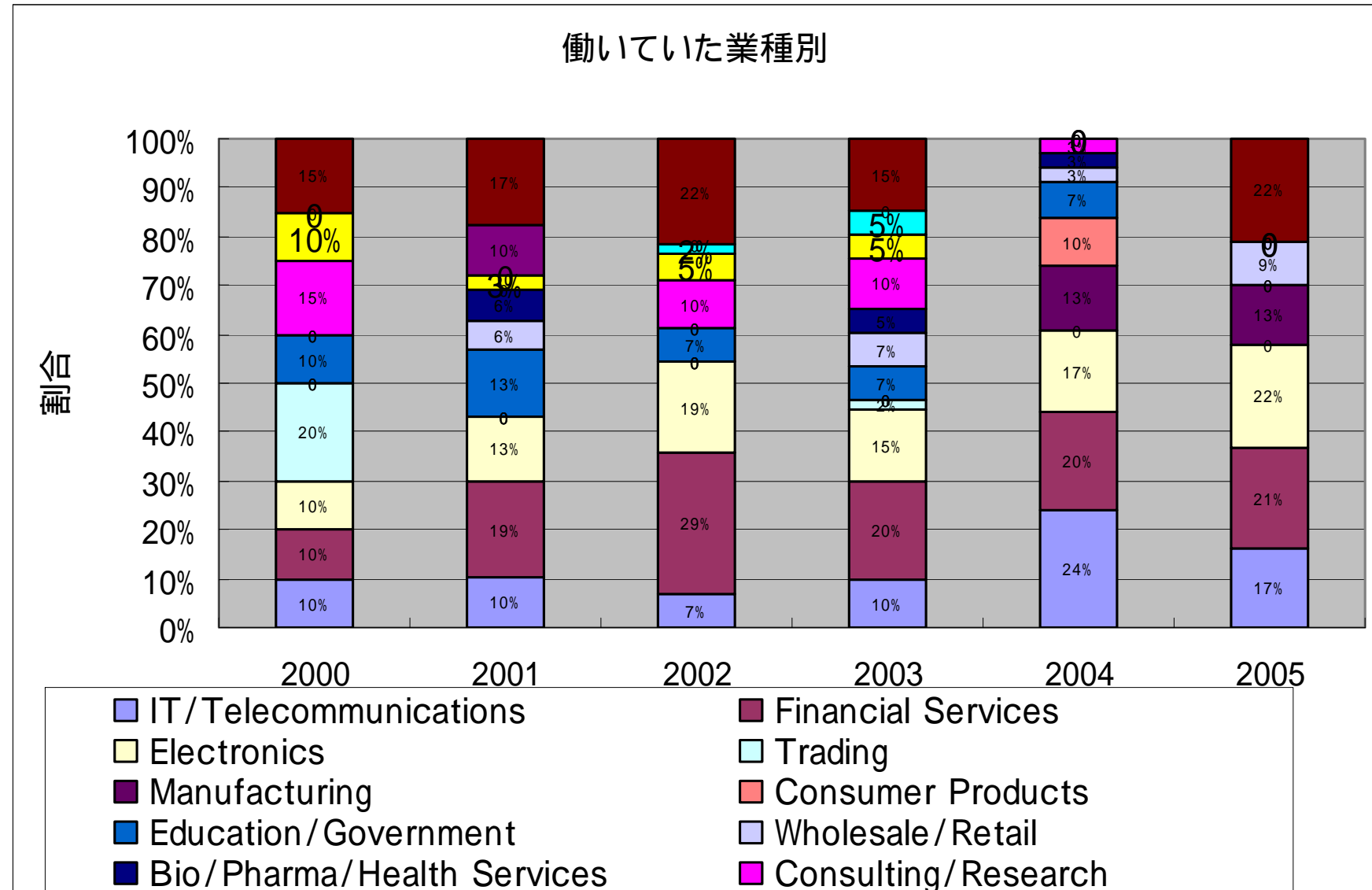
男女別学生数の割合の推移



学生出身地域別の割合

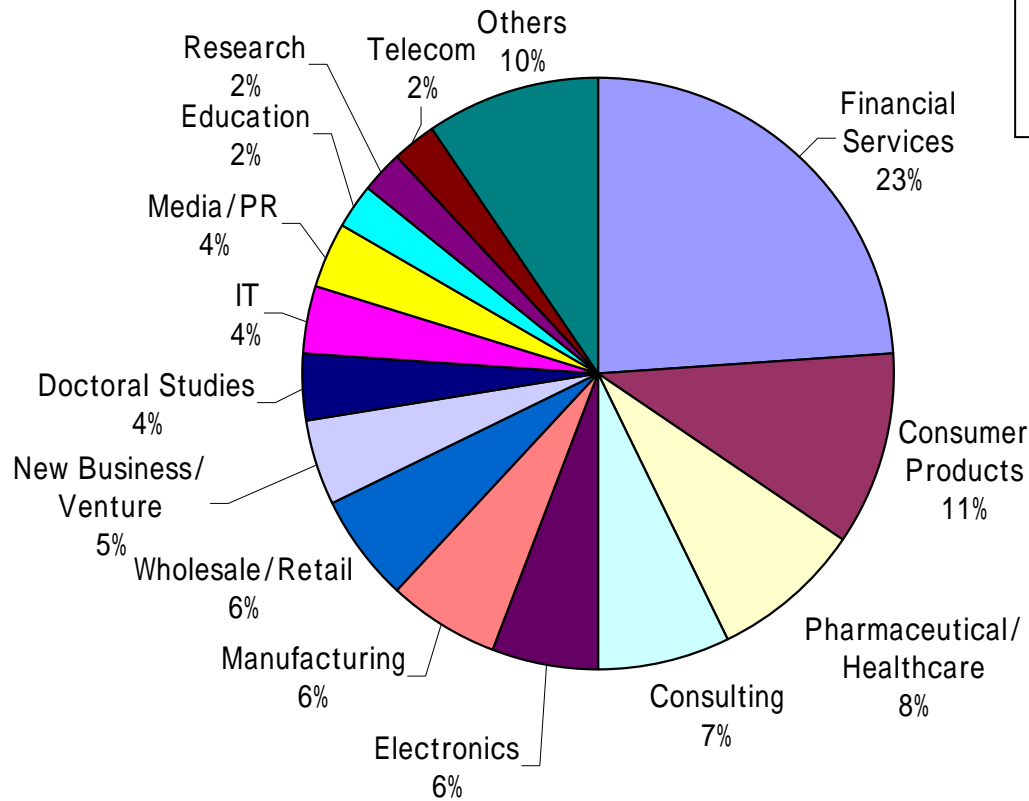


働いていた業種別の割合



業種別就職先

Industries of Placement



・ self-sponsored students from Class 2000 to Class 2004
・ including jobs found within and outside of Japan

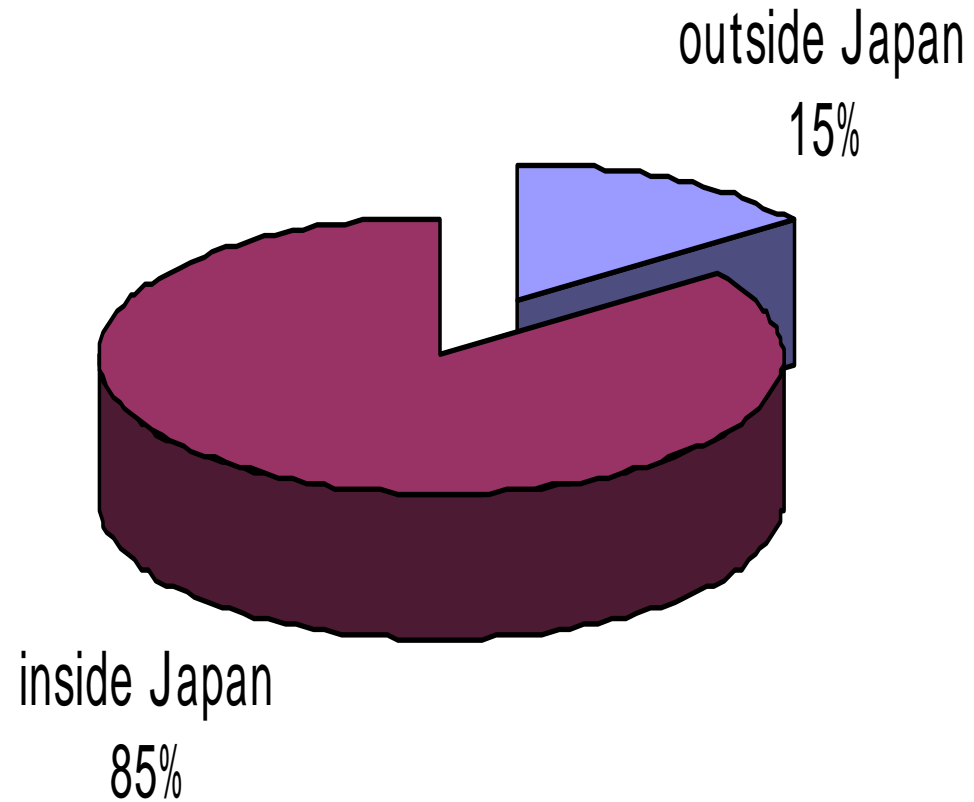
学生の就職先: 日本 vs. 海外

Placement of Foreign Students



Working outside of Japan vs. inside Japan

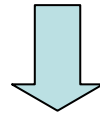
日本での就職と海外での就職の割合



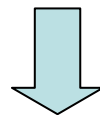
特色のあるカリキュラム

- **グローバルシチズンシップ Global Citizenship**

ビジネスに勝つための戦略を学ぶことだけがビジネススクールの狙いではない



- **Have-not(弱者)の立場に立ち、社会的問題を解決してもらい、市民活動への参加を目的とした科目を提供**



- 自閉症など障害がある子どもたちと1泊2日の乗馬キャンプ
- ホームレスの自立をサポートする団体の活動を手伝う 食事の提供・見回り
- 目や体の不自由な方や老人と同じ状態になり(器具をつける)、外を歩くことで同じ経験を共有する

出身・所属企業の属性

Class of	2000	2001	2002	2003	2004	2005
IT/Telecommunications	10%	10%	7%	10%	24%	17%
Financial Services	10%	19%	29%	20%	20%	21%
Electronics	10%	13%	19%	15%	17%	22%
Trading	20%	-	-	2%	-	-
Manufacturing	-	-	-	-	13%	13%
Consumer Products	-	-	-	-	10%	-
Education/Government	10%	13%	7%	7%	7%	-
Wholesale/Retail	-	6%	-	7%	3%	9%
Bio/Pharma/Health Services	-	6%	-	5%	3%	-
Consulting/Research	15%	-	10%	10%	3%	-
Other Manufacturing	10%	3%	5%	5%	-	-
Energy	-	-	2%	5%	-	-
Industrial Organization	-	10%	-	-	-	-
Others	15%	17%	22%	15%	-	22%

学生国別入学者数の推移

Class of	2000	2001	2002	2003	2004	2005	Total	Class of	2000	2001	2002	2003	2004	2005	Total
Japan	13	11	14	22	18	19	97	Vietnam				1			1
China		5	5	3	1	3	17	Bhutan		1					1
Korea	2	4	7	3	3	6	25	India			1	1	1		3
Taiwan			3	1	6		10	Sri Lanka						1	1
Hong Kong			1				1	Russia				1	1		2
Mongolia			1				1	Germany		1					1
USA	2	2	5	2	3	3	17	Netherlands		1					1
Canada		2		1	2		5	Finland		1					1
Australia		1		1	2	2	6	Sweden					1		1
Malaysia			2		6	3	11	Uzbekistan		1			1		2
Thailand		1	1	1	2	2	7	France						1	1
Singapore				1			1	UK				1		1	2
Philippines		1	2		1	2	6	Morocco						1	1
Indonesia			1	2			3	Honduras	1						1
Myanmar			1		1	1	3	Madagascar	1						1
Cambodia	1		1	1			3	Costa Rica				1			1